

2016

JAN. 1 vol. 39

# 東京成徳広報



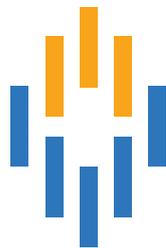
東京成徳短期大学創立 50 周年記念式典



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	<b>巻頭言「混迷の時代に」</b> 東京成徳学園 学園長 木内 秀俊
P 4	<b>学園創立 90 周年記念事業報告</b> 東京成徳短期大学創立 50 周年記念式典 『東京成徳ビジョン 100』発表及び記念式
P 6	<b>学園の動き</b>
P 9	<b>ひと『活躍する卒業生』</b> 長谷川 直紀さん（大学子ども学部子ども学科卒）
P 10	<b>教育活動</b>
P 12	<b>進路状況</b>
P 14	<b>TOPICS</b> 大学院 大学 十条台キャンパス 大学 八千代キャンパス 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷中学校 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園
P 20	<b>入試カレンダー・お問い合わせ先</b>



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク  
イエローは「活力」と「勇氣」を表し、  
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、  
同窓生を象徴しています。  
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五  
本の柱は五つの教育目標を象徴していま  
す。  
そして、八本の柱が一体となり、東京成  
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ  
ニティを作り上げる姿を表現しています。

表紙 東京成徳短期大学創立 50 周年記念式典

昭和 40 年に開学した東京成徳短期大学の創立 50 周年記念式典が 11 月 21 日挙行されました。

2 年 C クラスの学生が校歌を斉唱し、同窓生をはじめご来場の皆様も唱和されました。



## 「混迷の時代」

東京成徳学園 学園長 木内 秀俊

### テロの底流

近年いわゆるイスラム教過激派「IS」によるテロが世界を揺るがしています。一般市民を突然無差別に巻き込むテロは憎むべき行為であり許すべからざることです。このテロ行為がイスラム教あるいはイスラム社会の本質ではないことは十分承知の上で敢えて言うならば、この一連のテロはイスラム教社会とキリスト教社会の相克の歴史に根差す歪められた確執の一面を表すものとも言えます。長年圧迫されてきたイスラム教社会のキリスト教社会への反撃の一形態とも言えるのではないのでしょうか。

「IS」はイラクとシリアに跨って領域支配地を持ち国境線の廃止を宣言しています。イラクとシリアの国境は第一次世界大戦時の英仏露によるいわゆるサイクス・ピコ協定によって人為的に設けられたものです。このように植民地宗主国間の都合によって人為的に国境が設けられたのは多くのアフリカ諸国も同様です。それに加えて中東・ア

フリカ地域は部族社会の色彩もまだ強いようで、フランス革命後に誕生した欧米流の国民国家という形態が必ずしも馴染まない面があります。数年前に起こったアラブの春は民主化を求める民衆の動きとして報道されてきました。ところが最初のチュニジアはともかくその後のリビアなどの推移を見ると確かに独裁政権は倒れましたが、民主化どころか現状は混乱状態が深まり内戦状態にあります。またシリアでも内戦が激化して政府軍・反政府軍・IS軍の三つ巴の血みどろの戦いが繰り広げられており大量の難民が発生しています。アラブの春には勿論それぞれの国の人々の民主化や自由への思いがあったと思いますが、それに加えて欧米諸国による民主主義や自由の普及を名目とした当該国への介入があったことも否定できません。

### 価値観の揺らぎ

「IS」あるいはそれに同調するグループのテロはいまや全世界に

拡散しています。こうしたテロが起きるごとに民主主義国家においても社会防衛のために社会の監視体制が強化されて行きます。これは民主主義とは相反することであり、自由を標榜する民主主義国家の矛盾であります。民主主義や自由を普及するとする意図による行動が反って民主主義や自由の基盤を掘り崩す結果になりかねないのです。また現代社会はインターネットやツイッターなどの情報・通信の発達や交通手段の進歩による移動の容易さや人間関係の希薄化・流動化などの環境があり、少数による無差別テロを完全に防止することは民主主義国家では当面益々困難になって行くものと思われれます。

現代のグローバル社会への歩みは、経済において世界を単一市場化して自由競争を目指すものと考えますが、政治・社会の面でも摩擦・競争が激しくなっています。つまり自分たちの文化・習慣・社会システムを持つ価値観を他者へも及ぼしていこうとする動きです。最近の中国の動向もこの傾向の一つと言えるでしょう。極端に言えば民主主義などの欧米的な価値観も絶対的な価値ではなく相対的あるいは時限的な価値になるかもしれません。

### グローバル社会と建学の精神

このような状況の中で我々日本人はどの様に身を処して行けば良いのでしょうか。日本人は古代より先進的な文化を選択的に取り入れてきました。明治維新時においても圧倒的な西洋文明の前に開国を余儀なくされましたが、文化の面では自己の伝統とのすり合わせに多くの先人の葛藤や努力がありました。

世界が混迷を深める現在我々は、従来の欧米的な価値観から多少離れる必要があるでしょう。そして自己の主體的な立場・視点から世界の様々な価値観と偏見なく交流して取捨選択する時期であると思えます。そして競争があったとしても互いを認め合う共存共栄の世界、すなわち共生の世の中を目指すことが日本人の伝統的な生き方ではないかと思えます。

学園は創立100年に向けたビジョンの目標として『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成を掲げています。「成徳」はこの共生を堅持するための柱となるもので、この精神を持って未来を担う若人がこれからのグローバル社会の荒波を超えて行くことを期待したいと思います。

## 東京成徳短期大学創立50周年記念式典



11月21日、小春日和の中、東京成徳短期大学創立50周年記念式典が、十条台キャンパス階の木ホールで挙行されました。

当日は、東京都私立短期大学協会や東京都私立幼稚園連合役員の皆様、東京家政大学短期大学部学長川合先生、帝京大学理事長・学長沖永先生、地元・上十条町会や自治会会長、王子警察署長、王子消防署長など、日頃からお世話になってい

る近隣の皆様も大勢ご参列いただきました。さらに、実習や就職でお世話になっている幼稚園の園長先生方が多数お越しいただき、保育者養成校としての本学への期待が感じられました。また、学園理事・評議員の皆様をはじめ、学園創立当時

から永年に渡り本学の教育を支え育ててくださった先輩諸先生方や、現在は廃止された言語文化コミュニケーション・心理学で教鞭を執られた懐かしい先生方も多数お祝いに駆けつけてくださいました。同窓会（桐花会）からも、遠藤会長はじめ、常任理事の皆様に加え、母校の50周年を祝おうと、新潟・栃木・茨城・静岡・群馬・長野各支部の皆様もお越しくださいました。そして、在学生が参席し、会場が一杯になる賑々しい式典となりました。

式典は、本学で音楽の授業を担当している木埜下准教授を中心に結成された室内楽団による『モーツァルト フルート四重奏第4番イ長調 第一楽章』の演奏で幕を開け、

3曲のクラシック曲が演奏されました。フルート・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・ピアノの音色がホールに響き渡り、厳かな中にも温かな雰囲気が醸し出されました。

続いて、在学生を代表して2年Cクラスの学生たちが舞台上に整列して校歌を斉唱し、会場にいらした同窓生たちが唱和する声が響きました。

学長式辞では、「成徳」の精神に基づき開学以来社会に有為の人材を多々輩出してきた本学の歴史を振り返りながら、創立100年に向けて発表された学園将来ビジョン『東京成徳ビジョン100』のお披露目をまじえ、今後も「成徳」の精神を持つグローバル人材の育成に力を尽くしていくことが述べられました。また、昨年3月に学園と北区との間で提携された「連携協力に関する包括協定」に基づき、本学は地域発展のためにさらに協力していくことも伝え、地域の皆様への感謝と今後のますますのご支援のお願いが述べられました。

来賓代表の祝辞に続き、「本日の栄えある記念式典を契機に、これまで培われた伝統と輝かしい実績を

継承され、その特色、真価をさらに発揮して、一層の発展を遂げられますよう祈念いたします。」という馳浩文部科学大臣からの祝電が披露されました。

晩秋の穏やかな日差しの下、参加してくださったご来賓の皆様方ははじめ、教職員・学生も晴れ晴れとした気持ちで式典を終了しました。

お帰りの際には、『東京成徳ビジョン100』のパンフレットとともに、本学の五十年の歩みや教育研究・学生支援活動をまとめた『五十年史』を持ち帰って頂きました。

また、新校舎を見学された方からは、立派な校舎で学修できる学生は幸せだとの言葉も頂いております。

これに先立ち、9月12日には桐花会50周年記念総会が開催されました。木内秀俊学園長ならびに木内秀樹学長、そして各支部から同窓生が多数出席し、総会終了後新校舎見学会や懇親会が行われ、和やかなひと時を過ごしました。

50周年記念式典を終え、東京成徳短期大学は『東京成徳ビジョン100』の実現に向けて、新たな一歩を歩み出します。

『東京成徳ビジョン100』  
発表及び記念式

学園創立90周年事業の一環として策定された『東京成徳ビジョン100』がパンフレットとなって公表され、在学生をはじめ、保護者、教職員そして学園を支えていただいている方々に、これまでの歩みを振り返る『東京成徳広報創立90年特別号』とともに広く配布されました。

また、キャンパスや学校ごとに記念式が挙行され、記念式では、まず木内秀樹理事長から、これまでの発展が先人や教職員のご苦労・ご努力のたまものであるとの謝意が述べられた後、創立100年を目指して策定された「東京成徳ビジョン100」の現に向けて「オール成徳」で臨むとのあいさつがなされました。ついで、創立80周年以降にお亡くなりになった第3代理事長木内四郎兵衛先生をはじめ学園役員12名・教職員6名・学生生徒8名の方々を追悼し、黙祷が捧げられました。そして、最後に勤続15年以上の永年勤続者133人が表彰されました。

永年勤続表彰者

学園創立90年記念式に際して永年勤続表彰を受けられた方は次のとおりです。

なお、深谷高等学校については、平成25年に深谷高等学校創立50周年の記念式典があり、併せて永年勤続表彰が行われています。

【大学（人文・応用心理学部）】

秋山 秀一	35年	小林 朋恵	32年	今仲 昌宏	30年	青柳 隆志	26年
山下 琢巳	25年	泉川 綾子	23年	藤森 大輔	22年	小林 雅央	22年
大和田 栄	22年	福山 裕宣	22年	江澤 恭子	22年	川北 準人	22年
前田 幸代	22年	篠 涼子	22年	山下 敏博	21年	中村 真理	21年
相蘇 英聡	21年	古山 尚	21年	庄司 達也	20年	八角 理樹	19年
木幡 日出男	18年	出雲 輝彦	18年	松井 貴子	18年	道堀 嘉奈子	17年
高野 泰	16年	中山 哲志	15年	石崎 一記	15年		

【大学（子ども・経営学部）】

小野 和	37年	埴 和明	32年	水越 哲夫	29年	小原 由美子	27年
高橋 政志	27年	田中 真理子	27年	青柳 祐美子	26年	勝賀瀬 純子	25年
柴田 真美	23年	長谷部 孝司	22年	竹越 健一	22年	黒木 直美	22年
石代 哲久	15年	氏家 典子	15年				

【短期大学】

笹沼 栄子	32年	糸山 昌己	28年	篠 誠	22年	大國 ゆきの	20年
岩崎 亜矢子	18年	内田 善浩	16年	堀内 秀雄	15年		

【高等学校】

望月 幹雄	41年	岡本 敏	41年	森本 芳子	39年	宮下 茂樹	38年
笹山 明博	37年	佐久間 博	35年	小田切 裕子	35年	朝倉 祥一郎	34年
深澤 都子	33年	野中 修也	33年	村松 広英	33年	東 直樹	33年
真貝 宏	32年	増田 克巳	32年	荒井 和夫	32年	染谷 和幸	32年
樽林 久美子	31年	宮澤 弘至	31年	福岡 誠司	30年	大村 政和	30年
富田 徹	30年	外丸 勝巳	29年	西村 陽二	29年	大池 秀樹	29年
東 良和	28年	渡辺 伸一	28年	石田 和也	28年	永野 みどり	28年
我妻 利真	28年	赤藤 和仁	28年	原田 美香子	28年	中村 雅一	27年
由田 のぼら	27年	杉原 育世	27年	中島 康博	27年	関谷 道子	27年
米山 公一	27年	荒川 富美恵	25年	酒井 美穂	24年	大隈 勉	24年
村上 行子	24年	綿谷 幸則	24年	小林 雅子	24年	水村 一恵	24年
遠香 周平	23年	鈴木 理与	22年	浜田 憲彦	22年	高橋 知恵	22年
福本 恭一	22年	高橋 喜徳	22年	羽野 和代	22年	岡村 高博	21年
佐藤 則之	21年	吉川 直樹	21年	鴨下 潔	21年	川端 博子	19年
神田 上巳	19年	遠藤 美佐子	19年	小島 基子	19年	君島 央	18年
野川 史	17年	神取 史子	17年	石井 英樹	15年		

【中学校】

福田 都由	37年	宇田川 勝巳	36年	栗田 和久	34年	小林 美喜子	33年
小野寺 紀子	31年	小宮山 篤	29年	茂原 輝光	22年	寶垣 晃太	22年
矢田 明子	21年	深野 順子	19年				

【幼稚園】

大武 深雪	40年	鈴木 有子	33年	梶山 久美子	31年	向井 智恵	24年
黒澤 弘美	23年	濱屋 靖美	16年	菅野 絵美	15年		

【法人本部】

木内 秀俊	31年	木内 秀樹	30年	石山 賢	21年	近藤 智子	20年
高瀬 由美子	15年						

北区と「災害時における施設利用の協力に関する協定」及び「避難所の開設等に関する協定」の締結



北区との間に「災害時における施設利用の協力に関する協定」を新たに締結し、「避難所の開設等に関する協定」を再度締結しました。

学園と北区は連携協力に関する包括協定を昨年3月に締結しており、地域社会の発展や人材育成、学術の発展に寄与することとしており、今回の協定もその一環で多岐にわたる連携協力がなされることが期待されています。

今回の「災害時における施設利用

の協力に関する協定」は、地震、風水害その他の災害により公共交通機関が運行を停止し、帰宅することが困難となった方に対して、東京成徳大学高等学校（高等部）の校舎1号館1階を一時的に開放し、円滑な支援を行うための協定です。

また、「避難所の開設等に関する協定」は、大規模災害が発生した場合現在南グランドとして北区から借用している旧清至中学校跡地に地域住民等の安全確保及び生活支援等を図るための避難所開設を速やかに行うための協定です。

12月25日に行われた締結式では木内秀樹理事長が参加10社を代表し、本協定の地域貢献への意義を述べられ、今後とも連携をとり協力して行く方針等を話されました。

東京成徳大学高等学校（高等部）

室内プール耐震改修工事

総合体育館1階の室内プールの天井等非構造部材の耐震改修工事を行っています。生徒等の安全確保のためプール天井・梁等の改修工事、設備機器の落下・転倒防止工事になります。また、あわせてプール

の塗装、同一建物内の食堂の改修も行うため快適な学校生活が送れる環境が整備されます。工事中はご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどお願い致します。

大学十条台キャンパス5号館改修

平成28年度から、大学院心理学研究科と心理・教育相談センターが王子から十条台キャンパスに移転す

学園人事 平成27年8月～平成28年1月

採用

職員	教員	所属	氏名	配属・役職
中学・高校	大学事務局	大	青木 研作	子ども学部子ども学科准教授
	大学事務局	大	三輪 晋督	八千代教務課
	中学・高校	大	友坂 努	事務長
	中学・高校	大	黒崎 里美	事務長

退職

職員	教員	所属	氏名	配属・役職
中学・高校	大学事務局、短期大学事務局	中学・高校	関 勝仁	教諭
	中学・高校	中学・高校	有原 有樹	八千代教務課
	中学・高校	中学・高校	長谷川 菜津実	総務課
	中学・高校	中学・高校	相原 重好	事務長

新任・退任・異動

職員	教員	所属	氏名	配属・役職	前任
大学事務局	大	学	今 仲 昌 宏	配属・役職	人文学部国際言語文化学科長
異動	新任	退任	周 建 中	配属・役職	人文学部国際言語文化学科長兼務
阿部 博 英				配属・役職	学生支援課キャリアアドバイザー
				配属・役職	学生支援課課長

大学院心理学部臨床心理学と  
大学院が今春十条台キャンパスで  
スタート

大学院研究科長 新井邦二郎

平成28年4月から応用心理学部臨床心理学科について千葉県の八千代キャンパスから東京都北区の十条台キャンパスへのシフトがスタートします。

新入生から十条台キャンパスで学ぶことになり、2年生以上の学生はこれまで通り八千代キャンパスで学生生活を送ることになります。

キャンパス整備を終えた十条台キャンパスへの心理学系の学科の設置は、本学の学問領域の一分野を成す心理学が両キャンパスに展開されることになり、十条台キャンパスにある、子ども学部や経営学部との相乗効果も期待されています。

また、臨床心理学科が平成28年4月から十条台キャンパスに1年生を迎えるのと同様に、北区王子の大学院も十条台に移転します。

心理学研究科は平成10年4月、八千代にて開設。2年後に王子へ移転し、さらに臨床心理士資格認定協会の第一種指定校の認定を受け主に臨床心理士の養成を行って参り

ました。平成15年には博士後期課程を立ち上げ研究者養成も開始し現在に至っています。

大学院が十条台キャンパスに移転するメリットは、主に次の2つです。①臨床心理学科と心理学研究科の学生の交流を、授業やゼミ、実習や論文作成などに幅広く拡大し、さらに深くすることが出来ます。その結果、学科の学生は、教員以外に大学院生という新たな教育資源を得ることになり、大学院も学びや研究の意欲の高い学生を院生に迎えることが出来るメリットがあります。

②大学院が現在の王子のままの場合、担当教員は八千代、十条台、王子の3つのキャンパスを駆け回らなければならないませんが、移転することによりキャンパスが2つになり、いずれは十条台のみになります。後述するように心理職の国家資格である公認心理師が誕生し、臨床心理学科も大学院も学生や教育の質の向上に、これまで以上に努めて行く必要があります。この点からも大学院の移転は時機を得たものと考えられます。皆様方のご理解とご支援を、よろしく願います。

また、臨床心理学科が平成28年4月から十条台キャンパスに1年生を迎えるのと同様に、北区王子の大学院も十条台に移転します。心理学研究科は平成10年4月、八千代にて開設。2年後に王子へ移転し、さらに臨床心理士資格認定協会の第一種指定校の認定を受け主に臨床心理士の養成を行って参り

公認心理師の誕生

公認心理師法案が難産の末、昨年の衆・参両議院の通常国会で可決され、平成27年9月16日に公布されました。公布後、2年以内に諸準備を整え施行されますので、早ければ平成29年4月に公認心理師の養成カリキュラムがスタートするかも知れません。

公認心理師の資格を取得するためには、国(文部科学省と厚生労働省)が指定する機関の実施する試験に合格しなければなりません。受験資格は、4年制大学で心理学を学ぶことが求められ、卒業後に一定期間心理職の実務を経験するか、または心理系の大学院修士課程に入学し修了することが必要とされます。学部や大学院でどのような科目の履修を義務づけるのかについては、これから正式に決められていく予定です。学部を卒業して、すぐに心理職に就ける人はごく限られているので、多くの人が大学院入学を希望してくると思われます。今後、心理学研究科の学生定員の拡充の検討が必要となるかもしれません。

公認心理師の資格を求め、病院等の医療現場で心理

の仕事をしている人たちに強くありました。医療従事者である医師、歯科医師、薬剤師、看護師、助産師、臨床検査技師等は、いずれも国家資格であり、国家資格を持たない心理職の人は仕事に正当に評価されなくて肩身の狭い思いをしているという声を聞いております。

新しい国家資格である公認心理師は、医療のみならず、教育や福祉、産業などのさまざまな領域の心理分野で仕事のできる汎用資格とされています。現在、認定されている臨床心理士や学校心理士、臨床発達心理士、ガイダンスカウンセラーなどの各種民間資格は今後も継続され、汎用資格の公認心理師に対して、専門性のより明確な資格と位置づけられて行くものと思われれます。

公認心理師は、名称独占であるが業務独占ではないとされています。現在、臨床心理士などが仕事をしているスクールカウンセラーや国・自治体等の各種心理職の採用生かされていくことが必至です。それゆえ、臨床心理士とならんで、あるいは国家資格ゆえにそれ以上の人気を博する可能性を秘めていると考えられます。

**大学発ベンチャー制度が発足**

東京成徳大学では、大学で研究された成果や習得された技術を広く社会に還元することを目的とする起業を支援するため、昨年12月、「大学発ベンチャー制度」を発足させることになりました。この制度は、大学の関係者が本学において研究開発した成果や技術・サービスを、ベンチャー企業で製品化して販売し、広く知財の社会還元を図ろうとするものです。

以下、この制度の概要と起業予定のベンチャー企業を紹介します。

**制度の概要**

背景 「大学にとって、社会貢献は教育・研究に加えての「第三の使命」である」(文部科学省)とされ、「知的財産の取得・育成・管理・活用は大学の社会貢献の一つであり、基本的な役割である」(同)としています。

各大学はこの方針を受けて、自らが所有し、関係する知的財産の有効活用を図るべく、必要なポリシーを制定して、規程の整備や体制づくりなどを行ってきました。

本学でも、この時流のもと社会貢献の一翼を担うべく、ベンチャー起

業による知的財産の社会的活用を支援するための体制作りを行なうものです。

**概要**

「東京成徳大学発ベンチャーの認定及び支援に関する規程」(以下、大学発ベンチャー規程)を定めて、大学が支援の対象とするベンチャー起業の定義・要件や、支援内容、支援期間、申請手続き、審査体制等を明確にしました。

◇ベンチャー起業の定義として、①本学の専任教職員又は学生が知的財産権を活用する起業、②本学における研究成果や習得技術を活用する起業、③本学の専任職員や学生(退職・卒業者を含む)が役員となる起業で、大学に承認されたものとしていきます。

◇認定の条件は、ベンチャー企業への応分の出資、及び企業の意思決定に参与できることとなります。また、教職員がベンチャー企業の役員である場合、大学業務との兼業について学園就業規則上の手続きを終えていることとしています。

◇受けることができる支援内容は、①事務所の使用、②登記する会社の所在地を大学所在地とする、③郵便

物等の受配信等、④研究機器の利用、⑤大学の所有する知的財産権の使用等があります。また、会社名に「東京成徳大学発ベンチャー」を冠することが許されます。

◇支援期間は1年とし、2回目までの更新が可能です。

◇ベンチャー起業の認定は、学長、学科長、事務局長などで構成される審査委員会を経て、学長が決定します。

◇担当部署は、各キャンパスの総務担当課が当たります。

**今後の課題**

この制度は、我が国では歴史の浅い制度であり、LEDやソフトウェア等の技術開発や特許との関連が密接である、理工系の学部や研究機関を擁する大学を中心に動き始めています。

本学においても、今後、大学に蓄積される研究成果や技術を活用して育てる仕組みを必要とする場面が増えることが想定されます。

そのためには、①知的財産を管理する機能の強化、②社会貢献につながる研究成果を得ること、③起業ノウハウの標準化、④起業家へのインセンティブの検討、⑤ライセンス収

入配分の透明性確保など、多くの検討されるべき課題が考えられます。まずは、認定企業の健全な育成が期待されます。

**ベンチャー起業第1号誕生!**

制度発足の先駆けとなったベンチャー企業第1号の概要を紹介します。

企 業 名	合同会社 学幸社 (予定)
資 本 金	200万円
本 店 所 在 地	東京都北区十条台 1-7-13
代 表 社 員	阿部宏徳准教授 (応用心理学部)
目 的	1. コンピュータ、その周辺機器・関連機器及びそのソフトウェアの開発、設計、製造、販売並びに輸出入業務 2. 自然科学及び産業上の諸技術に関する総合的な研究調査業務 3. 人材の育成、職業適性、能力開発のための教育及びカウンセリング業務 4. 電子出版物の制作、販売、仲介 5. 前各号に附帯または関連する一切の業務

# ひと

## 『活躍する卒業生』

### 大学子ども学部子ども学科

(平成20年3月卒業)

高岡市 保育所

保育士 長谷川 直紀さん



昨年、北陸新幹線の開通で注目された北陸地方。その

一つである富山県は共働き世帯が全国においても多く、保育所の需要が高い地域になっています。現在、長谷川さんは富山県高岡市の保育所において地域の保育を支える保育士として活躍されています。

#### Q. 子ども学部を志望された動機、在学中に印象に残っていることは。

短大時代の恩師に誘われて日本保育学会に参加したことが進学(編入)を考えるきっかけでした。保育を探究したいという思いが強かったのですが、当時は男女共学で学べる大学、教育や福祉など幅広い視点から「子ども」について学べる大学が少なく、「ここしかない!」と思いい、編入試験を受けました。

入学後は1期生として3年生に編入しました。受講科目が多く、毎日1時間目から5時間目までほとんど授業を受けていました。忙しい日々でしたが、先生方や同級生が温かく迎えてくれ、少ない空き時間に十条銀座商店街に出かけたり、研究室で先生を囲んで語り合ったりもよくしていました。3年生でしたが受講科目は1・2年生対象のものが多く、グループワークや模擬保育などを通して学年を超えた友人もたくさんできました。

野外活動サークル Ouring Kidsにも入りました。当時は学生自らが自然を学ぶ、本気であそぶ、仲間と繋がることを大切に活動していました。キャンプでのアイスブレイクゲームやキャンプソング、焚き火を囲んで夢を語りあった時間は大切な思い出です。Ouring Kidsで出会った親友とは卒業した今でも繋がっていて、年に数回キャンプや雪遊びに出かけています。親友ができたことは、大学時代一番の収穫です。

#### Q. 卒業後の進路と現在まで

課題研究で幼児教育ゼミに所属したことで、初等教育について学びを深めたい思いから、新潟県の上越教育大学大学院に進学を決めました。

た。大学院では「保育の省察」をテーマに研究に取り組みました。小学校教員養成の科目をこなしながら、質的研究の手法を学び、時には保育現場にも足を運び、修論と学会発表に挑戦する日々でした。

幅広く子どもについて学びましたが、保育者として働きたい気持ちは変わりませんでした。そこで大学院修了後は保育士の道を選び、高岡市の保育士になってこの春、6年目になります。

#### Q. 都会と地方の保育を経験して

学生の頃、都内の保育園で延長保育補助のアルバイトをしていました。その園は園舎が高層マンションの一角にあり、閉園時間は夜10時でした。地元では考えられない環境と保育時間の長さに驚きました。しかし今保育士になって感じることは、子どもと向き合う姿勢は都会も地方も変わらないことです。地域によつて環境やニーズは様々でも、目の前にいる一人一人の子どもに寄り添うことを大切に、保育を進めていきたいです。

#### Q. 今後取り組みたいことは

仕事では子どもを中心とした保育の実践に取り組んでいきたいです。日々の保育で精一杯な所もあり

ますが、同僚と一緒に保育を語り、チームワークを組んで実践することを目標にしたいです。



プライベートでは人との出会い、多様な価値観に触れる機会をこれからも大切にしていきたいです。

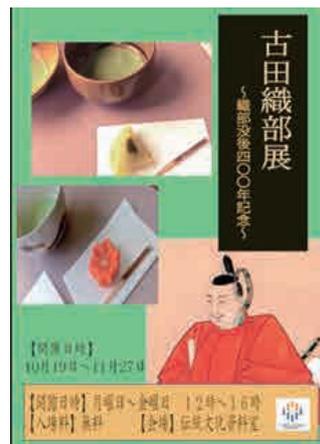
親友とキャンプをする、研修や学会に参加する、旅先でふらりとお店に入る…。出合いや再会を通して、新たな気づき、発見を求めていく姿勢は変わらずにいたいと思います。

#### Q. 後輩へのメッセージ

大学の教育理念に「共生とコミュニケーション」とありますが、身近な人のかかわり、多様な人との出会いを沢山経験してほしいです。その中で格好つけなくても一緒に笑い、支えあえる親友、仲間と出会えることを願っています。

古田織部没後400年記念行事

大学人文学部日本伝統文化学科



平成27年は安土桃山時代に活躍した茶人古田織部が没してから400年の年にあたります。日頃より日本の伝統文化を学び、研究し、地域に発信を行っている学科として、さまざまな研究領域を有する本学科の特性を活かした学際的なアプローチにより、古田織部に関連する記念行事を以下のように実施しました。

今年度、安土桃山時代の歴史と生活文化、安土桃山時代の服飾、能・狂言と茶など、関連する内容を演習の授業で学習し、その成果を学科の全学生で共有するとともに、記念講演会、学生による展示、発表会を行いました。

授業科目「伝統文化（茶道）」を担当されている式正織部流教授伊

藤一美先生のご協力を賜り、6月の

式正織部流手前見学会を皮切りに、

7月には虎屋京都管理部文化事業

課課長浅田ひろみ氏を講師にお招

きして「安土・桃山時代の茶の湯の

菓子」というテーマで記念講演会を

実施いたしました。翠樟祭では演習

「文化史」「古典文学」「芸能史」を

受講する学生による「古田織部と安

土・桃山文化」の発表がなされまし

た。また、伝統文化資料室では、古

田織部展を開催し、12月5日に記念

行事の最後を飾る、「安土・桃山時

代の装束による手前」が行われまし

た。式正織部流に伝わる古田織部像

と同じ五位の文官束帯姿を再現、ま

た、安土・桃山から江戸時代につ

ての武士の装束である直垂、大紋、

水干、素襖

の4種の装

束を着た学

生による手

前が行われ、

挙措に

往時を感じ

ることがで

きました。



新分野

エンターテインメントビジネスの開講

大学経営学部経営学科

平成28年度から新分野エンター

テイメントビジネスを開講します。

経営学部では、平成21年の設置以来

実学をもつて学生を社会に送り出

してきました。そして、より実践的

なビジネス分野の一部として平成

25年度からファッションビジネス

分野のカリキュラムを整備し、実践

してきました。

「経済のソフト化」という言葉が

言われて数十年が経ちました。その

通り第3次産業は、日本の産業構造

の多くの割合を占め、なかでも、

サービス産業は増大を続けました。

また、近年のICT技術の発展は

ライフスタイルや仕事などの社会

に大きな変化をもたらしています。

その中でもSNSや動画共有サー

ビスによってだれもがコンテンツ

を作りだし、発信できることが可能

になり、それをビジネスとしている

事例もあり、将来の期待ができる業

界です。

経営学部のエンターテインメ

エンターテインメントビジネス

- ホスピタリティ論、グローバル・コンテンツビジネス論
- エンターテインメントビジネス論、イベントプロデュース
- エンターテインメントビジネスの経営戦略
- コンテンツマーケティング戦略
- メディアビジネス論（放送・映画・音楽ビジネス）
- アニメーションビジネス論、ゲームビジネス論、スポーツビジネス論、
- デジタルコンテンツの著作権管理と契約、観光ビジネス論
- レジャー産業論

ントビジネスではコンテンツビジネスについて学ぶとともに、ホスピタリティや観光ビジネスなども学ぶことができます。

さらに、ファッションビジネスの学びにエンターテインメントの学を掛けることによってさらなる相乗効果も期待できます。

「東京成徳ビジョン100」では、「成徳」の精神を持つグローバル人材の「育成」を目指す将来像としており、グローバル人材の育成の強化を図ることを目標としています。なかでも中高一貫部や高等部ではネイティブ教員の授業や今年度から始まったJETプログラムによるALT(外国語指導助手)の受入れなど様々な取り組みがなされています。

### ネイティブ教員による英語授業

中高一貫部では、クレイグ・ウォーカー(イギリス出身)、ルーカス・シンクレア(カナダ出身)、ジェレミー・ローグ(アメリカ出身)の3名が専任教員としており、それぞれ中学1年、2年、3年の学年所属として授業だけでなく、体育祭・文化祭・合唱祭などの行事はもちろんのこと、戸隠校外学習や京都・奈良修学旅行といった宿泊行事にも日本人教員と同様に参加しています。

英語の授業においては、中学1年生・2年生は、週3時間ネイティブ教員による授業があり、日本人とのティームティーチング形式で、コミュニケーション活動を中心に、英語を聞き取ることを、使うことに主眼を置いています。ICT教材をふ

んだんに駆使し、生徒たちに英語を口にすることを楽しいと思わせる工夫が随所にちりばめられています。特に生徒たちが積極的に取り組むのは、iPadを用いたストーリー作りです。4〜5名のグループを作り、オリジナルストーリーを考え、配役を決め、録画・編集し、発表するというものですが、ストーリーの面白さや、演技の面白さを楽しむだけではなく、実際に自分で話す英語を自分で聞いたり、他の生徒の作品と比較をすることを通して、

もつとうまくなりたい、もつと多くの英語を話せるようになりたいという意欲を湧かせることにつながっています。伝えられることの楽しさが伝えたいという意欲につながり、自然と英語学習のモチベーションを高めていきます。日本人教員が主体的に担当する5時間分の授業との連携を密にすることによって、ターゲットとなる表現技法と知識をお互いに高め合いながら習得させられるように工夫しています。

### JETプログラムによるALT受入

東京都私立学校にもプログラムによるALTが派遣されることとなり、JETプログラムとは、語

学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。

一貫部にはピアス・ラングドン(アメリカ出身)が、また、高等部にはオリバー・ウィッツ(イギリス出身)が派遣されました。ピアス先生は大学で日本語を専攻し、日本の英語教育のみならず学校教育全般にも強い関心を示しています。7月末の来日でしたので、授業を担当するのは9月からでしたが、8月実施の1年生戸隠校外学習にぜひ参加したいと申し出るほど意欲的に本校の教育活動に関わろうとしてくれています。現在は、中学1〜3年の英語授業のアシスタントティーチャーを担当するとともに、幼稚園の年長クラスで英会話の授業(週2回)も担当しています。また、オリバー先生も後記DDR等で活躍しています。

### グローバル・ラウンジ新設

中高一貫部校舎内に新たにDDR(Discussion & Discovery Room)、通称グローバル・ラウンジがフリー



英語の書籍、英語のゲームなどを揃え、上記ネイティブ教員が交代で担当し、主として放課後に生徒のための英語によるコミュニケーションの場として活用しています。

授業とは異なり、リラックスした雰囲気の中で、自由にコミュニケーションを楽しむことに主眼を置いています。例えば、土足禁止エリアとして2メートル四方の緑色のラグを用意し、この上では寝転がって本を読むのも自由です。英語を使わなければならないプレッシャーがあっても、周りで皆が英語を使っている雰囲気を味わうという使い方もいいと思います。多くの生徒がここに来て英語で過ごすことを楽しめるようにしたい、純粹に楽しむために英語に触れるようにしたいと、ネイティブ教員たちは心から願っています。

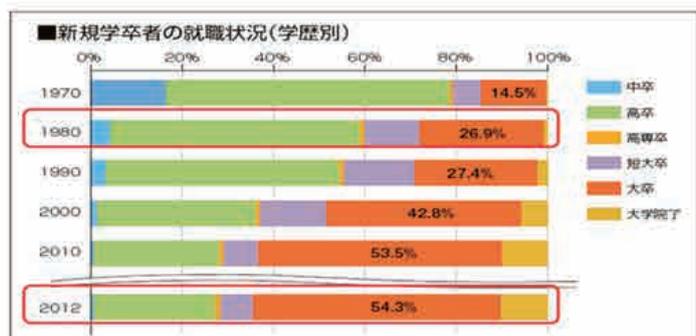
コムをリニューアルしてオープンしました。部屋のコンセプトを「英語が公用語」とし、英字新聞、

## 進路状況

大学就職支援センター長

教授 力石正弘

2008年のリーマンショック以降の厳しい状況から一転し、ここ数年は学生にとって有利な状況が続いていますが、勘違いしてはいけません。あくまでも準備に余力がなかった者が多数の内定を獲得する『内定長者』になり、一方で卒業直前に進路が決まらない学生も決して少数ではないということです。



文部科学省 文部科学統計要覧(平成25年版)より

■求人総数および民間企業就職希望者数・求人倍率の推移



第32回リクルートワークス大学求人倍率調査

### 近年の傾向

学歴別の就職状況の推移をみると。保護者世代の1980年前後4人に1人であった大卒者は、現在2人に1人となっています。企業全体の求人も増えていますが、倍増した大卒者が就職を難しくした一因といえるでしょう。

また、右は過去10年間の求人倍率等を示しています。

この図から、リーマンショック以後急速に悪化した求人倍率が昨年あたりから回復していることが確認で

きます。今年度の4年生は「1.73倍」なのですが、業種によってかなり差があるということです。東京オリンピック決定で受注増が見込める建設業は6.18倍の高水準、例年採用意欲の高い流通業は5.65倍、反面、女子学生に人気の高い金融業は0.23倍とかなりの狭き門になっています。状況が好転したのは一部の業種なのです。

また、産業構造の変化によって、サービス業等、第3次産業の求人が中心になってきています。どの業種でも「営業系」の求人は増加し、「事務系」の求人はオフィスのOA化の影響を受け減少しています。営業を嫌う男子学生や事務職に拘る女子学生が内定を獲得するのに苦労する構図は変わりそうもありません。私の3年生生のキャリアの授業の中でも「営業」に偏見を持たせないように、「営業」という仕事について詳しく説明し、前向きにとらえてもらうように腐心しています。最近では、女子学生が自分の性格や価値観から営業にチャレンジする学生が増え、入社後も男性陣に負けない活躍をしていることを企業の人事担当者から伺うことが多くなりました。

た。キャリアを担当する教員としても頼もしく、彼女たちの職業選択に多少の影響を与えていることに改めて責任を痛感します。

### 内定の決まらない学生の特徴

私は昨年の4月に専任として本学に着任しました。それまでは共学だけでなく、女子大や理工系の大学、そして、様々な偏差値の大学でキャリアの授業に携わってきました。興味深いことにそれらの大学で内定獲得に苦戦する学生には一致する「共通項」がありました。

#### 内定の決まらない学生の特徴

- ① 就職活動のスタートが遅い
- ② 職種に偏見がある
- ③ コミュニケーション力に問題がある
- ④ 親の影響力が強い
- ⑤ 優しいが消極的
- ⑥ 企業を規模や知名度のみで選んでいる



今年変更された就活のスケジュールが再度変更されそうな心配です。(平成27年11月15日現在)詳しくは触れませんが、就活期間が短縮されそうです。つまり①のように出遅れてしまうことは絶対避けなくてはなりません。3月の広報解禁では、志望先企業を既に複数選定していることが不可欠になります。②については、先に触れました「営業」に対して前向きにとらえること、特に男子学生は社会に出る以上、一度は「営業」に取り組んでやるという覚悟を決めることが重要です。③は、面接を苦手としている学生に共通している「目を見て会話ができない」という欠点です。企業が学生に望む能力として常にトップにあげられる能力は「コミュニケーション能力」です。しかし、最近それと同様に求められているのが「主体性」というものです。具体的に言えば、自分で物事を決める力ということ。④はそれに反する行動として見られてしまいます。つまり、親がなんでも決めてしまい、自分で決めることを苦手とする学生を指します。ある意味素直な人間なのですが、面接官には線が細く頼りなく見えてしまうでしょう。⑤も④に似ています。物事を競うのを

嫌い、つい譲ってしまう学生の事を指しています。男子学生に多いような気がします。人物的には良いものを持つているのに：と毎年何人かの学生を見て悔しくも残念な気持ちになります。そして、最後の⑥は重要です。誰でも知っている飲料業界大手メーカーのシステム設計を事業としている会社がありました。この会社の社名はその大手メーカーの冠はつけておらず、一見すると単なるシステム設計の中堅企業にしか見えません。毎年、求人でも苦勞し、なかなか優秀な学生の確保ができない状況でした。社名が変わり、すぐにその大手メーカーの子会社であることが明確なものになりました。その社名変更がなされて迎えた会社説明会で人事担当者は悲鳴を上げたそうです。なんと応募者が昨年の20倍になり、学生確保に苦慮していた人事担当者は、一転、不合格者への対応で連日の深夜残業となったとの事です。この会社は、社名に大手の冠がついただけで応募者が殺到する。このように自分のやりたいことが明確でない多数の学生は、特に「知名度」につられて応募する傾向があります。企業レベル以上に学生が集まり、当然競争は激しくなります。こういう観点で就

活を続ければ内定は遠のき、本人も自信喪失に陥り、悪くすると就活を回避する行動をとることになってしまいます。私の授業で一番学生に注意喚起しているところです。「内定の決まらない学生の特徴」について記してきました。逆の見方をすれば、内定を取るとは決して難しくありません。本学は、他大学に比べキャリアの授業が充実しています。1年生では、大学生活と就活の関係を説き、目標を持った4年間を過ごすように指導しています。3年生の前期には就活のスイッチが入るように勤勞観を養う授業や豊富なインターンシップ先の提供を行い、前述した「コミュニケーション能力」や「主体性」の向上を図っています。そして、後期には就活に関する徹底した研究と実践を授業、各種セミナーで実施し、内定を取れる学生の指導に力を入れています。

**今年度の状況**

本学の4年生は人文学部、応用心理学部では11月末時点で卒業予定者の約6割が内定を得るか大学院進学を決めています。率としては昨年と変わらないのですが今年には株資生堂、イオンリテール(株)など上場企業及びその関連企業への内定者

が26名と多くなっています。また公務員も市役所の行政職に1名、警察官に2名進路を決めています。子ども学部(一般就職)、経営学部は、就職活動のスタートが昨年と比較して遅かった影響を受け、内定率も低く推移しています。しかしながら、10月に入ると内定率が上昇し始め、最終的には昨年度と同程度の進路決定率を見込める状況になっていきます。教職員が連携しながら最後まで諦めることなく、引き続き学生の満足いく就職を支援して参ります。

**平成27年度 大学就職内定先(一部、順不同)**

(株)ヨークマート、国土緑化(株)、日本交通(株)、(株)資生堂、トヨタカローラ千葉(株)、ダイハツ千葉販売(株)、イオンリテール(株)、大竹建窓(株)、(株)ファーストステージグループ、(福)慶美会、JAかとり、(株)不二精工、As-me エステール(株)、ギャップジャパン(株)、アルファクラブ(株)、RIZAP(株)、(株)なとり、板橋中央医科グループ、はるやま商事(株)、(株)カクヤス、(株)コメリ、(株)小泉、(株)すかいらく、(株)イトヨーカ堂、全日本空輸(株)、長谷川ホールディングス(株)、りそなグループ、東光電気工事(株)、(株)アクティオ、積水ハウス(株)、埼玉トヨタ自動車(株)、丸井産業(株)、国際自動車(株)、(株)ユーパーツ、中央計装(株)、千葉県警、江南市、鴨川市、西東京市、公立小学校、公私立幼稚園・保育所など

大学院

最後の王子キャンパスでの  
同窓会を開催

9月12日、同窓会が主催する各イベントが開催されました。今年も臨床心理士試験対策模擬試験、OB・OGフォーラム、第5回同窓会総会、懇親会の4部構成で実施され、多くの修了生が集いました。大学院は平成28年度より王子キャンパスから十条台キャンパスに移転するため、参加した修了生は、慣れ親しんだ校舎との別れを惜しんでいました。同窓会は、キャンパス移転後も、修了生の益々の活躍と大学院のさらなる発展を祈念しつつ、活動を進めていくことになっています。

修士論文中間発表会

10月3日、修士課程2年生全員による第2回修士論文中間発表会が開催されました。今回の中間発表会は、論文の要旨をポスターにまとめて発表するポスター発表形式で行われました。発表者は、進捗状況を説明しながら、データの分析方法やまとめ方について、教員や他の院生と熱く意見を交わしていました。修士課程2年生は、1月の修士論文提出に向けて、いよいよラストパターンの時期にさしかかっています。

大学 八千代キャンパス  
女子バスケットボール部活躍!



女子バスケットボール部活躍!

本年度は、男子バスケットボール部が3部6位と、惜しい結果に終わりましたが、女子バスケットボール部は、関東大学女子バスケットボールリーグ戦36大学が所属する4部リーグで、ブロック戦を7戦全勝で勝ち上がり、8校で行われた順位決定戦リーグ決勝で、武蔵丘短期大学を73対55で破り、見事優勝、入れ替え戦に進出することができました。10月25日に聖徳大学でおこなわれた3・4部入替戦では相模女子大学に78対44で勝利し、見事に3部昇格を決めました。

創部時は7名だった部員も現在では18名にまで増え、今年も千葉県女子学生バスケットボール大会春季リーグ戦Aリーグでも優勝、着実に力をつけている女子バスケットボール部の、今後の更なる活躍が期待されます。

大学 十条台キャンパス

子ども学部  
呼吸から表現の楽しさを知る

准教授 長野 麻子

音楽は「感情」を育てる大切なもので、私たちは自ら身体の中に音楽を持っていく。もちろん誰もがピアノの演奏ができるわけでも、オーケストラを指揮できるわけでもないが、どんな音楽にも人間の息遣いや声の根源があり、感情の表現があるのだ。とりわけ「あーうー」「まんままんまん」などと自由に声を発し、音やリズムを試したり、楽しんでたりしている乳幼児は日常的に音楽を表現しているとも言える。音楽が感情を表すもので、その根源に呼吸があることを私は大事に思い、拙著『すっすっはっはっこ・きゅ・う』（童心社）をテキストに用い、子ども学部の学生に音楽の授

業を行っている。これは1冊の絵本だが、読者が絵のイメージから呼吸をし、声を出すことで感情を伝え、音楽を引き出すことを目的としている。「すう〜はあ〜」「みゅにいいい」「ぴびんぼーん」といった具合に、呼吸や声の音楽が面白く飛び出すことを学生に期待しつつ促していく授業の中で、最初は緊張し、戸惑いがちであった学生も単純な呼吸一つで次第にリラックスしていく様子が見て取れる。音楽は失われた乳幼児期を取り戻し、いつでも私たちが自由にするかけがえのない表現なのだ。

経営学部

インターンシップ

3年生の授業でインターンシップを実施しています。前期の授業ではまずインターンシップの目的やビジネスマナーなどを学び、受入企業に関する企業・業界研究を行い最終的に自分の希望する候補企業を絞り込み応募書類を作成していきます。そして夏休みに本番のインターンシップを行い、後期はインターンシップの結果を報告書に取りまとめて学部内で成果報告会を開催します。

本年度は約30名の学生がイン

ターンシップに行ってきました。

就業体験先はファッション関連、不動産関連、結婚式場、スポーツ関連、保育園、金融機関、区役所などとても様々です。期間は平均で1週間程度です。限られた時間ですが、学生はインターンシップから普段のアルバイトとは違う、正社員としてまた組織の一員として働くことの大変さや難しさなど、とても多くのことを肌で感じて帰ってきました。

同時に自分の職業適性や将来設計を考える良いきっかけにもなっています。この経験は来年からスタートする就職活動に必ず役立つものと思います。最後に快くインターンシップを引き受けて頂いた企業の皆様方に感謝申し上げます。

**短期大学**

**保育研修会**

「これまでも、これからも」

「東京成徳からの新しい風」

11月21日の午後、50周年記念式典に続いて、第29回東京成徳短期大学保育研修会を開催しました。保育研修会は毎年実施していますが、今年も「これまでも、これからも」東京成徳からの新しい風」というタイトルで短大創立50周年記念イベン

トの一環として実施し、申し込み受付早々に200名を超える多数の参加希望があったため、10月には申し込みを締め切るというこれまでにない大盛況でした。

まず、全体講演会は、前内閣府子ども・子育て本部参事官の長田浩志様をお迎えして「子ども子育て支援新制度下における保育の役割」という演題で、4月にスタートした新制度について詳細な説明を聞くことができました。

その後行った分科会では、3分科会・5会場に分かれて、講師の先生による講義をはじめ、参加された先生方によるバズセッション、新聞紙を使って行うキッズダンスの体験など、幼稚園や保育所の保育者たちが和気あいあいと熱心に講座に取り組む様子が見られました。

今回は、例年以上に本学を卒業して現場で頑張っている卒業生が多く参加してくれました。今後も、卒業生へのリカレント教育の場としても、この研修会を発展させていきたいと考えています。

**中高一貫部**

**ホームページリニューアル**

「伝えるものから伝えるものへ」

「本校の自慢は『生徒』です。」東京成徳の最も伝えたい特色は「生徒」自身です。本校では常に生徒が主役となり、主体的な精神を学んでいきます。そのような成徳生の様子を発信していくホームページのリニューアルを行いました。コンセプトは「わかりやすく伝えるもの」です。

東京成徳には多くの誇れる教育活動があり、そこから自慢できる生徒たちが育っています。そうした生徒の活動や様子が何となく伝わるのではなく、より多くの方へわかりやすく伝えていく媒体に変えていこうと

考えました。また、これまであまり伝えきれていなかった行事や各教科の取り組みを掲載していくことで、多方面で活躍する生徒や、教育理念をさらに理解いただけるようにしました。

そして、トップ画面を整理して「知りたい情報を知ることができるよう」ホームページにすることができました。刻々と変化する情報化社会の中でグローバルな人材育成が求められる今日に、東京成徳の「伸ばす」教育の発信源として今後もホームページは日々、「伸」化していきます。



高等部

DDRの開設



「英語により親しめる環境を」という目標のもと、高等部においてもDDR (Discovery&Discussion Room) を開設しました。今までのカリキュラムでは1年生しか英会話に親しむ環境がなく、その力を2年生、3年生と伸ばしていける環境がなかったからです。また今年度から外国人教員も4人となり、一人ひ

とりにより十分な時間を割くことが出来るようになりました。

中心となつて活用しているのは1年生の英会話の授業、単なる英会話の練習に留まらず、課題に対して最終的にはプレゼンテーションを通じて発表することを目標に、グループワーク等に取り組んでいます。またその際には電子黒板を用いることで、より分かりやすく説得力のある発表が出来るよう、情報機器の活用にも工夫を凝らしおり、例えばあるマンガ(ピーナッツ)の絵だけを見て、そのあらすじを英語で考え、それをグループで劇にして発表するという授業では、生徒たちは我々の想像以上に熱心に取り組んでいました。同時にiPadと電子黒板をリンクさせ、生徒の解答を即座に集計し黒板に反映させることで、自分の意見を積極的に発表させると共に、見失いがちであった生徒の理解度も確実に把握できるようにしました。

昼休みや放課後は常に外国人教員が在室し、いつでも自由に英語に親しめるようにしており、英検の面接や大学入試の英作文対策なども個別対応しています。母の日、ハロウィーンといった行事の際には、日本と英語圏との比較を行うこと

で、文化や伝統に対する興味や関心を持つてもらったり、英語に関するクイズ大会なども定期的に開くことで、苦手な生徒も入りやすい空間づくりを行っています。

開室して3カ月が経ち、DDRの利用もこれからですが、生徒の英語に対する姿勢は確実に変化してきています。英検や大学入試の結果は勿論のこと、これまであまり英語を得意としていなかった生徒も、積極的に英語でコミュニケーションを取るようになる姿勢が見えるようになりました。今後も更に多くの生徒に利用してもらおうと同時に、他教科にも広く活用してもらおうことで、多くの教科と英語を結び付けていく「学びのきっかけの部屋」としても活用していきたいです。

深谷中学校

第1回修学旅行

開校して3年目。初めての修学旅行が実施されました。記念すべき第1回の修学旅行は、7月27日から31日までの4泊5日で、目的地はマレーシアとシンガポールでした。

【第1日(7月27日)】

京成上野駅に集合し、成田空港へ。7時間25分の空の旅の後、マ

レーシア・クアラルンプールへ。

【第2日(7月28日)】

マレーシアの素朴なカンボン(田舎)暮らしを「ドラニ村」で体験。午前中はマングロー狩りやバティック染めにチャレンジし、午後はホームビジット。マレーシアの家庭料理や伝統的なお菓子に舌鼓を打ちました。

【第3日(7月29日)】

クアラルンプールで地元の学校を訪問。同世代の生徒たちとおみやげを交換したり、両国の遊びなどを教え合ったりして交流。日本からは羽子板や独楽、けん玉を持参し、英語で遊び方などを教えました。

【第4日(7月30日)】

午前中はシンガポールとの国境の街ジョホールバルで、白亜のモスクなどを見学。その後、国境を越え、シンガポールへ。ここではグループ別行動。出発前に立てた計画に沿って、現地の大学生のサポートを受けながら、グループごとにマライオなど観光スポットをめぐるしました。

【第5日(7月31日)】

帰国。成田空港到着後は、専用バスで深谷へ。全員無事帰国。



成長期にある中学生にとつての海外修学旅行は楽しい経験であっただけでなく、異国の同世代との英語による交流は、貴重な体験として財産になったと思います。

深谷高校

いつの日か再会を果たしたい

2年D組 矢澤優果

10月31日、万感の思いを胸に秘め、日本を発った。初めて乗る飛行機は、離陸する瞬間かなりの重力がかかり、耳鳴りがした。少しすると耳鳴りは消えたが、これに9時間乗り続けるのかと思うと、少し憂鬱になる。しかし、友達と話をしている



と時間が流れるのが速く、気がつけば夕食になった。少しすると、機内のライトは消え、就寝の時間となる。暫くして、フツと目を覚ますと窓の外には見とれるほど美しい朝日が昇っていた。まさに光彩奪目という言葉があてはまる景色が目の前に広がっている。辺りがすっかり明るくなった頃には、シートベルト着用のサインが点く。離陸の時とは違い、未知の世界への好奇心で、揺れさえも楽しく感じた。タラップを降りると、朝だというのに日差しが強い。日本の5倍程と聞く紫外線をすぐに実感した。

ここはオーストラリアのゴールドコースト。日本とは違う色彩豊かな建物や看板が異国情緒を漂わせている。行程最初の目的地は、空港近くにあるカランビン野鳥園だ。ここではコアラを抱っこする貴重な体験ができる。感触はふんわりとしていて、毛がモフモフだった。まるでぬいぐるみに触れているのかと思うほどコアラはおとなしい。カンガルーがいる場所には、エミューやカモなども一緒に放し飼いになっていた。お目当てのカンガルーはほとんど横になっていて、この時、はじめてカンガルーが夜行性なのだと知った。カランビン野鳥園は、どこを歩いても色々な有袋類の動物に出会うことができる。昼食は園内でバーベキューランチを頂いて、野鳥園をあとにした。続いて向かったのは、ファームステイの家族が待っている場所ボードザートだ。そこでパパとママに会った。家に行く途中に寄ったスーパードで、カンガルーの肉を紹介された時は、とてもショックだった。家に向かうまでの道のりはとても長かったのだが、その途中、目を惹いたのは薄紫の花を木いっぱい咲かせたジャカランダという三大花木のひとつで、可憐な印象を持った。

ファームステイの家に着くと4匹の犬が私達を出迎えてくれた。この家で飼っている動物は、猫が12匹、馬が12匹、羊が7匹だ。この日は馬に餌をやったり、夕食まで犬と遊んだりした。就寝しようとした時、外に来るように言われ、行ってみると、そこにはおぼつかない足取りで母親の後を追う生まれたばかりの子馬がいた。良いタイミングで私達はこの家に来たのだと思った。翌日は、フェンスを取り付ける作業を手伝ったり、ピクニックに連れて行ってもらったりした。ファームステイ最後の夜、次の日が誕生日だったので、お祝いのケーキが出た。そして、私達もお世話になったお礼として日本から持ってきたプレゼントを渡した。とても嬉しそうに受け取ってくれたので、こちらまで顔がほころんだ。翌朝は5時半に起床し、朝食を摂り、スーツケースを車に詰め込んで、ボードザートの集会場を目指した。別れがとても辛く、時間ギリギリまで一緒にいたその時に、私達全員は再会の約束を固く交わしたのだ。こうして、言葉足らずの英語で、どうにか乗り切った2泊3日のファームステイは、無事に終わることができた。

修学旅行4日目の午前は、シテイ

キャットに乗船し、川の上から古い建築物と高層ビルが同居するブリスベンの美しい街並みを堪能した。そして、クイーンズストリートモールという所で自主研修を兼ねて、昼食を摂った。私はハンバーガーを食べたが、両手で持たなくては落ちてしまうほどにボリュームがあった。その後、バスで移動し、大型ショッピングセンターのロビーナタワーセンターで買い物を楽しんだ。ここでは、皆持ちきれないほどのお土産を買っていた。

ウォーターマークホテルに到着し、荷物を部屋に入れると、市街のバーリアンステーキハウスで大きなステーキを食べた。その大きさは、そう言えば、こちらに来てから肉づくしだなと実感させるほどのものだった。

ホテルの朝食はブッフエスタイルで、どれもおいしかったので、朝から食べ過ぎる。5日目の学校交流では、「セントステイブズカレッジ」のザリアさんとオセロや折り紙、習字などをした後、クリケットとラグビーを行った。一緒にホットドックを食べたりしていると時間は滑るように流れていった。もう少し会話ができたら良かったのと自分の英語のつたなさを恨んだ。



午後はムービーワールドだ。そこでは何度もアトラクションに乗り、とても楽しい時間を過ごすことができた。ショーではバットマンやバットガール、トゥイーティイなどが見られる。鞭を振りながら歩くバットガールの姿は、まるで映画から出てきたかのように見えた。集合の時間ギリギリまで私達はアトラクションに乗り続けた。ムービーワールドの後には、ゴールドコーストのビーチ散策をした。白い砂浜を裸足で歩けば、気分は水平線の彼方まで広がる思いがした。

オーストラリア滞在最終日は少し早めにホテルから出発し、空港に向かった。計器の点検で1時間程の遅れがあったものの、無事に飛行機は飛び立ち、9時間の後には日本の成田へ到着してしまふ。振り返れば、心躍る出来事の連続で、とても充実した修学旅行だった。着陸間際の赤々とした日本の夕日を眺めていると、楽しかった旅の思い出の一つひとつが、目の前に蘇ってきた。

幼稚園

赤羽自然観察公園・縦割り園外保育

11月24日・27日・30日、3日間に分れて赤羽自然観察公園に行きました。どの日も朝は冷たい北風が吹いていましたが、出発する頃には小春日和の日となり、ワクワク心弾ませ出発しました。幼稚園バスで公園に到着すると、園ではあまり見慣れない赤や黄色の葉に「きれいだね」と興味を深め会話をしながら散歩をしました。広場ではワーと歓声上げ、年長、年中、年少組、皆一緒にランニングや鬼ごっこを楽しみ思いきり体を動かして遊びました。

沢山遊んだ後は、まちにまっただけご飯。この日は現地に、成徳幼稚



園特別メニューの温かいカレーを届けて頂き、青空の下、広い広場で食べるカレーは格別美味しく、「おいしいね」「おかわり」と子ども達はニコニコ笑顔いっぱいでした。年長さんは、小さいお友達のお世話をしたり色々な事を教えてあげたり、年中・年少さんは、お兄さんお姉さんと一緒に遊んで、楽しい一時を過ごしました。

秋が深まり寒くなると、木の葉の色が変わる様子を見たり、聞いたりと、触れたりしながら自然の変化を知る貴重な体験となりました。

第二幼稚園

避難訓練



9月11日、地震発生後の火災発生を想定して、園舎から園庭に避難する訓練を行いました。防災頭巾をかぶり、口もとをふさぎ緊張感を持って全員が安全に避難しました。

さいたま市の消防自動車もやってきて、車に設置してあるいろいろな道具について、見せてもらいました。「車の中にはたくさんの方が詰まっているんだね。」

などとの感想も聞かれました。また、実際に消防士の方から、消火器の使い方を見せていただきました。

ドナルドさんがやってきた



10月13日近隣にあるハンバーガー専門店から、マスコットのドナルドさんがやってきて、「食育」について教わりました。丈夫な体で元気に過ごすためには、毎日の食事で、何でも好き嫌いしないで、いろいろな物を食べることが大切なことを、クイズや大型パネルを使って、わかりやすく説明してくれました。また、「いただきます。」と「ごちそうさま。」の大切さも教えていただきました。最後にお礼に園児みんなで「さんぽ」を歌って、ありがとうの気持ちを表しました。



大学八千代キャンパスの航空写真を撮影しました昨年7月に完成したBlueWing（サッカーフィールド）が大きく目立ちます。

東京成徳大学大学院  
心理・教育相談センター

当相談センターは広く地域に対して開かれており、年齢や性別に関係なくさまざまな心理的問題に関する相談をお受けします。必要に応じて医療機関等をご紹介する場合があります。

- ・自分の性格に関する悩み
  - ・気分の落ち込みや不安
  - ・家族（親子関係・夫婦関係）についての悩み
  - ・仕事上の問題
  - ・育児に関する悩み
  - ・子どもの学習上の課題や進路についての悩み
  - ・不登校や行きしぶり
  - ・発達の遅れや障害に関する悩み
- 以上の問題について、心理療法、カウンセリング、家族療法、遊戯療法、心理検査、コンサルテーションなどを行います。

検索

東京成徳大学大学院  
心理相談センター

受付・お問合せ

03-3927-4117

4月より北区十条台に移転します。

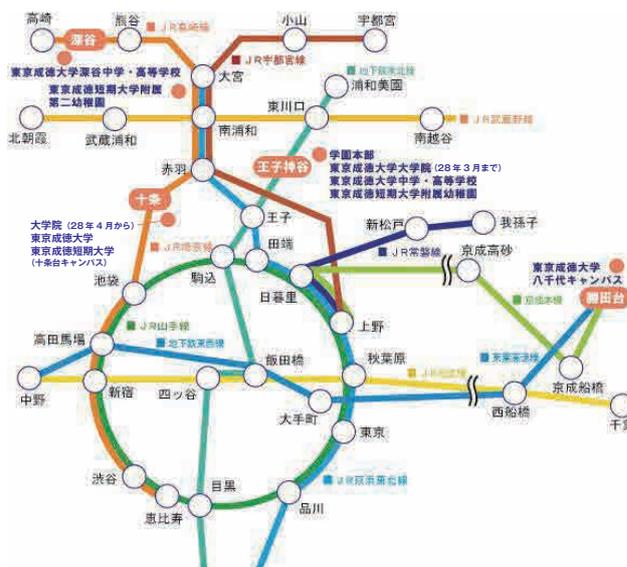
平成 28 年入試カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1月					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 ・深谷中	11 ・深谷中	12	13	14	15	16 ・深谷中
17	18	19	20	21	22 ・高校 ・深谷高	23
24 ・大学 ・短大 ・高校	25 ・深谷高	26 ・高校	27	28	29	30 ・大学院 ・深谷中
31						

日	月	火	水	木	金	土
2月	1	2	3	4	5	6
	・中学	・中学	・中学			・大学 ・短大
7 ・中学	8	9	10 ・高校 ・深谷高	11	12	13
14 ・高校	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 ・大学 ・短大	27
28	29					

※最新の情報については各校ホームページ等でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
3月		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10 ・大学(子どもを除く)	11	12
13	14 ・深谷高	15	16	17	18	19 ・大学(経営、臨床のみ)
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



学校法人 **東京成徳学園**

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院

<http://www.tsu.ac.jp/gra>

電話 03-3927-4116

東京成徳大学

<http://www.tsu.ac.jp>

十条台キャンパス

電話 03-3908-4530

八千代キャンパス

電話 047-488-7111

東京成徳短期大学

<http://www.tsu.ac.jp>

電話 03-3908-4530

東京成徳大学中学校・高等学校

中高一貫部

<http://www.tokyoseitoku.jp/js>

電話 03-3911-2786

高等部

<http://www.tokyoseitoku.jp/hs>

電話 03-3911-5196

東京成徳大学深谷中学・高等学校

中学校

<http://tsfj.jp>

電話 048-573-1784

高等学校

<http://www.tsfh.jp>

電話 048-571-1303

東京成徳短期大学附属幼稚園

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind>

電話 03-3911-6337

東京成徳短期大学附属第二幼稚園

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind>

電話 048-854-2151

東京成徳スイミングスクール

電話 03-3914-2383

学校法人 東京成徳学園 〒114 - 8526 東京都北区豊島 8 - 26 - 9 TEL 03 - 3911 - 2411 FAX 03 - 3911 - 6500  
法人本部企画調査室 東京成徳広報 第 39 号 平成 28 年 1 月発行